

都留教育実践の輪を広げる集い

都留教育推進大会が開催される

この大会は、山梨教育推進指定のしめくりとして、また、今後の教育の方途についての論議を高めるため、三月六日文化会館において小・中学生をはじめ、各学校、各地域の代表者など五〇〇名の参加を得て開催されました。

ばやし民俗芸能発表、全体会、そして、三遊亭円楽師匠の「笑いと人生」と題しての講演会を行いました。

事例発表、分散会では、家庭、学校、地域社会の一層の協力を必要とする実践活動について、各世代間で意見を交換し合い、世代間の交流を深めました。また、三遊亭円楽師匠の講演では、円楽師匠の心うたれる語りとユーモアあふれる話術に陶醉し、人生の温かさ、深さを知り、豊かな心をもつすばらしさを教えられました。

△三遊亭円楽師匠

最後に、大会のしめくりとして、また、今後の教育課題解決の方途としての大会スローガン——
一、郷土を愛する心を育てよう
一、学びの輪を広げよう
一、子どもを育む地域づくりに努めよう
を参会者全員で朗読し大会の幕を閉じました。



交通安全の集いで勉強会

3月4日、上町自治会館で交通事故多発地域交通安全の集いが開かれました。

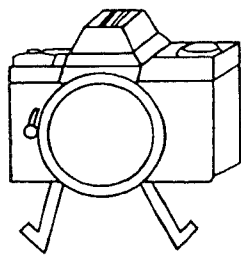
県の交通事故多発地点として、国道139号線の文大前～柳田橋間(約1km)が選定されたことをうけて、関係地域住民の参加のもと開かれました。

会場では、地域住民約50名がためかけ、「子供と老人の交通安全」「交通事故の状況分析について」などの説明をうけ、交通安全意識を高めました。

二月二十四日、文化会館で公民館まつりが開催され、多くの市民で賑いました。
これは、公民館が開いている十三学級の受講生たちが一年間の学習の成果を発表し、今後の学習意欲を高めようとして毎年開かれているものです。
四階大ホールでは、老人大学や婦人学級の意見発表や芸能発表があり、三階では、学級生による作品展示会も開かれました。

一年間の学習
成果を発表

公民館まつり



市民バドミントン大会

毎年三月に開催される、市民バドミントン大会は、三月十七日(日)、市民総合体育館で開かれました。

約一〇〇名の選手は、親子ダブルス・男子ダブルス・シングルス・女子ダブルス・シングルスの五種目に分かれ、熱戦が繰り広げられました。

